

令和4年度 西大村中学校 学校評価報告書

1 校訓及び教育目標

人間尊重の精神を基本とし、教育基本法及び長崎県教育方針、大村市教育方針を念頭に置き、学校教育目標の具現化及び努力目標の達成を目指す。生徒・教職員・保護者・地域が一体となり、徳・知・体の調和のとれた人間性豊かな、生きる力を備えた生徒を育成する。教育は子どものためにある。「生徒一人一人を大切にす教育」を推進する。そのためには、使命感に徹し、深い教育愛と豊かな指導力を身に付け、生徒・保護者から信頼される教育者を目指す。また、保護者や地域との連携・融合を強く持ちながら、特色ある開かれた学校づくりを推進する。

校訓 『親和』 『求学』 『創造』

教育目標 豊かな心を持ち、自ら学び、地域を元気にする中学生を育む

2 学校経営方針

『一人一人を大切にした内面(命と心)を育む教育の推進』

※合言葉「良樹細根 大樹深根 プライオン！」

「良樹細根 大樹深根」

細かく深い根を持つ樹は、大きく育つ。目に見える葉っぱや幹ではなく、土に隠れ見えない部分の根の張り具合が大事である。人に例えると、見かけではなく、人としての内面(根)を大切にしようということである。自分の「内面の根」は、自分で伸ばさなければならない。平凡でもいい、自分らしい生き方で、時には立ち止まってもよいので、社会の波に押し流されそうになってもしっかりと踏ん張ることができる「内面の根」を育てたい。

「プライオン(プライド:誇り+ライオン:挑戦)」

生徒一人一人のチャレンジ精神を大切に、自信と誇りのある自分らしい細かく深い根を育てていきたい。

《めざす生徒像》

- 1 思いやりをもつことができる生徒(徳)……「親和」
- 2 学力の定着に努める生徒(知)……「求学」
- 3 地域で活動し自己有用感を持てる生徒(体)……「創造」

《めざす教師像》

- 1 生徒一人一人の命と心を大切に、深い愛情と誠意のある教師
- 2 「ねらいと評価を明確にしたPDCA」と「信頼を基盤とした協働」に取り組む教師
- 3 家庭や地域との交流を通じて、地域に信頼される学校づくりに努める教師

3 重点努力事項

(1)教育課程・学習指導:「豊かな学力」と「確かな育ち」を保障する学びづくり

- ①「豊かな学力」の向上を図る指導と対策
西中検定の活用、読解力の育成(本年度本発表)、小中連携による学習規律
- ②「確かな育ち」を図る指導と対策
努力と創造が発揮できる、目的意識を持った体験活動の充実

(2)生徒指導:「多様な感性」を基盤とした安心・安全な学習環境づくり

- ① 生命・人権尊重を基盤にした心の教育の充実
特別の教科「道徳」、命・人権教育の充実(いじめの根絶)、教職員の人権意識高揚
- ② 積極的な生徒指導と不登校対策の充実
チーム西中、生徒理解と迅速で組織的な対応、関係機関との連携
- ③ 特別支援教育の充実
特別支援教育への理解と推進(特別支援学級、通常学級における支援、別室登校の支援)
- ④ 教育環境の整備
学習意欲と心を育てる環境づくり(仲間意識、教室掲示、整理整頓、給食対応)

(3)学校運営:地域と連携した信頼ある学校づくり

- ① コミュニティー・スクールの推進
学校運営協議会の運営と「中学生が地域で動く」活動の充実
- ② 情報発信と学校評価
教育活動と成果を積極的に情報発信、学校評価の活用

4 学校評価結果

保護者()は「わからない」と回答した割合になります

領域	項目	NO	質問内容	アンケート結果 (肯定的割合 %)			結果の考察
				生徒	保護者	教職員	
				学校運営	教育方針	1	
情報公開	2	学校は、教育活動や生徒の様子を各種通信や、WEB等でわかりやすく知らせている。(生徒:学校からの文書や「たより」を保護者に渡している)	87.9	68.8 (5.4)	96.3		
不登校対策	3	不登校等の生徒の指導にあたっては、関係機関と適切に情報交換し、連携が図られている。			80		
小中連携	4	小中の接続を意識した連携が進められている。(情報交換を含む)			43.3		
PTA活動	5	学校のPTA活動は、充実した取組ができています。		68.7 (12)	83.4		
学力保障	学力向上の取組	6	学校は、学習内容の定着を図る授業を実践している。	81.4	61.1 (16.2)	86.7	
	ICT機器の活用	7	学校は、「わかる授業づくり」の手段として、ICT機器を有効活用している。	68.6	58.7 (16.6)	76.6	
	学習態度の育成	8	学校は秩序があり、生徒は落ち着いて学習している。	64.8	60 (12.4)	76.7	
心の教育	道徳教育	9	道徳科の授業は計画的に実践し、道徳性を養うことができています。	89.6		80	
	特別支援教育	10	支援を要する生徒の情報共有、共通理解、支援ができています。			80	
	人権教育	11	いじめのない学校にするため、生徒の悩みや相談に親身に対応している。	69.2	53.7 (16.2)	96.6	
	集団生活の向上	12	生徒が元気なあいさつを行うように指導がなされている。	88.1	68 (8.1)	86.6	
	図書館教育	13	学校図書室の効果的な活用(本の貸し出しや調べ学習など)がなされている。	33.8		56.7	
健康安全教育	安全教育	14	自分の安全を守るための適切な行動選択ができるよう指導につとめている。(交通安全指導・避難訓練など)	89.4	78.7 (10.1)	93.3	
	環境整備	15	清掃活動に意欲的に取り組み、美しく安全な学校環境づくりにつとめている。	89.1	76.1 (13.1)	60	
	健康教育	16	病気やけがに対する、健康に配慮した指導がなされている。		73.5 (14.6)	93.3	
	安全点検	17	施設設備の安全点検を定期的に行っている。			93.4	
郷土教育	歴史教育の充実 地域との連携協力	18	地域の歴史や文化を学ぶ学習を充実させている。(地域学習、生き方学習、職場体験)	75.9	72.1 (0.7)	86.6	
社会変化への対応	外国語教育 (ALT活用)	19	ALTを活用した外国語教育や異文化理解が実践できている。	80.1	63.5 (0.7)	76.7	

5 保護者の意見

項目	内容
情報公開	「学校のHPなどで様子や時間割がわかる」というご意見の一方、「せっかく多くの素晴らしい取組があるのに、学校の取組が、あまり伝わってこない」などのご意見がありました。また、学校行事等早めに教えてほしいことや、西大村中学校のホームページ等も活用し、もっと情報を発信してほしいなどのご要望もありました。
学力向上	「教科ごとに違っているのですが、一概には言えないが、平均的にできていると思う」というご意見の一方、「生徒用パソコンの保管や使用方法について工夫や配慮をしてほしい」などのご意見がありました。また宿題の出し方や授業の進め方についても学級間の差がないようにしてほしいなどのご要望もありました。
教育相談	「担任と保護者や生徒とのコミュニケーションが良好である」とのご意見の一方で、双方の言い分をよく聞いた上で、平等な対応を求めるご意見や、生徒が通学しやすい環境づくり、生徒への適切な言葉遣いや寄り添いなど、相談体制の充実を求めるご意見がありました。
集団生活の向上	「生徒のあいさつで清々しい気持ちになった」というご意見の一方で、登下校時のマナー不足(自転車の乗り方、大声、私有地への無断侵入)についてのご意見がありました。
部活動	部活動における学校側の協力体制、部活動引退の時期、土日の部活動のあり方等についてご意見がありました。また、下校指導時の教員の声かけについても、適切な言葉かけとなるようご要望がありました。
学校への意見他	上記以外でも、次のようなご意見をいただきました。 ○体育大会・ライオンキング・市音楽祭は本当に素晴らしい行事で感動した。 ○今年度は、色々な行事が見られてよかった。 ○受験に対して、生徒の意識の高まりや緊張感がほしい。 ○クリーンデイでは衛生上よくないので、素手で集めることはやめさせてほしい。 ○校内では、生徒の安全を確保するために、車のスピードを落としてほしい。 ○夜は暗いので、校内に外灯を増やしてほしい。

令和4年度の課題

1 情報発信

- (1) 生徒の様子が保護者に届く工夫
- (2) 学校参観機会の増加

2 教育相談

- (1) 複数の学年担当教師が関わる指導・相談しやすい体制
- (2) 生徒・保護者が誰にでも相談しやすい体制

3 教科指導

- (1) 複数の教科担当が1時間の授業に関わる工夫
- (2) 家庭学習を充実させるための手立て

4 ICT機器の活用

- (1) タブレットを活用した授業の充実
- (2) 学校へ来れない生徒への遠隔授業

6 学校関係者評価(コミュニティスクール学校運営協議会)

・ 教師側の数値と生徒・保護者の数値の差について話があった。「先生方も一生懸命やっている。質問の仕方、とらえ方にも違いがあり、伝わりにくいところもある」などの意見があった。

・ 家庭が学校側に求める内容も多く、学校依存が強すぎるため、ここまでは家庭教育でと示してもよいのではないかとの意見があった。

・ 「ICT機器の活用」において、保管や使用方法についての工夫や配慮を行っていくことを確認した。

・ 部活動指導員や、授業ボランティア(家庭科 調理実習など)について、地域として協力していきたいとの意見があった。

・ 地域学校協働活動の「中央小校区ウォークラリー大会」では、参加生徒のリーダーシップが発揮され、活動の様子も素晴らしいとの声が届けられた。

・ 「図書館教育」についての質問があった。読書は学力向上にもつながるとの指摘を受け、朝読書のさらなる充実や、本に親しむ手立てを行っていくことを確認した。

・ その他

① 様々な角度、視点からアンケート結果をみとる良い機会となった。

② 同じ内容のアンケートを年1回、継続して行い、年度による比較を行いながら、教育活動の成果をみとることを確認した。